

会員交流会(電気・機械と化学・材料)開催

「事業における知財戦略:知財を事業収益のために役立てる方策」

第四期会員交流会は、電気・機械グループと化学・材料グループそれぞれ分かれて、表記のテーマで、住友クラブにて開催されました。電気・機械グループの開催日は9月14日で、19名が参加し、活発な議論が行われました。内容としては、適正な出願件数、技術標準との関係、特許・意匠・商標の使い分け、途上国での模倣品対策、社員に対する啓発努力、他社の牽制効果、海外子会社との関係、未実施権利の活用、顧客との共同出願、パテントプールなど、多岐に渡る議論となりました。リーダーの谷弁理士を始め、4名の弁理士と、2名の活性化ワーキンググループメンバー、そして他のメンバーから有益なアドバイスがなされました。

一方、化学・材料グループは9月9日に住友クラブで開催されました。17名が参加し、侵害された場合の訴訟費用問題、顧客との契約上の問題、材料と用途の関係、商標の活用、社員に対する啓発、出願かノウハウでの秘匿か、外国出願の効果、途上国問題など、こちらも活発な議論がなされ、リーダーの中塚弁理士と活性化ワーキンググループからの2名のメンバー、他のメンバーから大変有益なアドバイスがありました。

両グループとも、交流会後は、懇親会を開催し、ここでさらに本音の議論がなされました。今後、知財業務を進めていく上で、大変参考になったものと思われます。

【次回の予定】

電気・機械グループ:

11月4日(水) 14:00~17:00 住友クラブにて
テーマ:「知財担当者の育成」

化学・材料グループ

11月9日(月) 14:00~17:00 月 住友クラブにて
テーマ:「出願か秘匿かの判断基準」

※会員交流会には、いつでも参加できます。ご希望の会員は当協会の事務局にご連絡ください。

以上